

生涯学習 がんばっています!

健康のために楽しくノルディックウォーク教室に参加した女性。豊山町の歴史を学び、現地学習では充実した時間を過ごした女性。

今回は生涯学習講座の「ノルディックウォーク教室」と、「歴史講座」に参加された方の声を紹介します。

ノルディックウォーク教室に参加して

伊藤 欽子 さん
いとう ちんこ

二十九年度最後となるノルディックウォーク教室が三月十日愛知健康の森公園に決まり、一か月振りに肌寒い朝九時集合一同元気良くバスに乗り、現地に伺いました。思い返せば初参加は三年前でした。高齢者の私は皆さんと共に行動が出来るか不安でした。でも自身の健康を維持し、認知症予防の為に考え教室へ参加を決めました。体育協会の講師の方々と職員の方の優しく丁寧な指導でボールの基本の持ち方、歩き方、グリップの最適な握り具合、筋肉のトレーニング等種々体験し学ぶことができました。年間では四季を通し、各地の野外で指導を受け、仲間の人達と交流もあり、自然の恵を満喫しながらウォーキングに励んできました。今回も現地では、芽吹いた野草に迎えられる、芝生の中、恒例の基本体操を終え、講師の方に見守られ、順不定の長蛇の列でノルディックウォークに出発です。長短の屈折が多い坂道を登り、広い公園を進む途中でも無理せず歩くように助言があり、勾配の急な階段ではボールの使い方に注意する等アドバイスもありました。講師の方々の気配りを受け、注意しながら途中池の辺りで足を止め、水面に浮き沈むカキバラの姿や鴨の群れに感性が湧き、梅花も香り、木々の芽吹きを眺めながら丘へと歩行を進めます。給水で休憩を取り、最後の道程を足取り軽く、太陽の日差しを浴び汗ばみながら、歩数七千で帰路につき今回のノルディックウォーク教室も無事、楽しく終わりました。今後とも健康増進の効果も期待して是非参加したいと思います。



郷土の歴史を巡る講座 現地学習より

岡島 ひかる さん
おかしま

郷土資料室学芸員の加藤武先生を講師として迎え、明治・大正の豊山を『西春日井郡誌』と『豊山町史』から学習しました。現地学習では、清須市にある西春日井郡忠魂碑と清州城を見学。「忠魂碑」と聞いて分かる方は、七十代後半の方か、もしくは身内に戦死者のある方と推測致します。「忠魂碑」とは日露戦争以後の戦死者の慰霊碑のことで、大正・今上天皇の即位記念事業として、在郷軍人会が献金を募り、当時の下小田井村にあった郡役所に建立されましたが、大正二年に現在は空港の滑走路の一部になっている岡山に移されました。「記念碑の近くは公園のようになっていて、春には小学生の遠足で賑やかだった」と郷土文集に記されています。滑走路の工事が始まるまでは豊山に安置され、その後は今の場所である清州公園に移されて現在に至っているそうです。現地で見えた忠魂碑は、想像していた以上に大きく、威風堂々としたその姿に、驚きとともに当時の軍人会の力と遺族会の無念な想いが伝わって来るようでした。雨の清州城は観光客も少なく、ボランティアガイドさんから付きっきりで説明が聞けて、私達には絶好の学習日和となりました。



最高の仲間たち

岩元 駿汰 さん
いわた しゅんた

ぼくたちは五月十二日に、開催されたドッジボール大会に出場して、二年連続で優勝することができました。

去年優勝した六年生の先輩たちに、「来年も絶対優勝しろよ!」と言われていたので、何かなんでも優勝してやるっていう気持ちでした。試合では、勝ち進んでいくとやっぱ強い相手がいっぱいいて勝てるか不安になったけど、ワクワク・ドキドキしながら、試合を楽しんでいました。

仲間の誰かが、当たったら「ドンマイ!大丈夫」とはげましたり、難しいボールをキャッチしたら「ナイス!キヤッチ」と声掛けし合ったり、チームで団結して戦いました。試合前にも、チームで作戦を考えました。今回、優勝!二連覇できたのは、チームワークの良さからだ、と思います。六年間、ドッジボール大会に出場して一番思い出に残る試合になりました。

来年も、稲のチームワークの良さを発揮して、がんばってほしいです。



このページについての問合せ
教育委員会事務局生涯学習係
0396

28